



No. 73

2010. 7.

タラノキの新品種

「阿波の銀次郎」(あわのぎんじろう)

タラノキは、中山間地における有望品目として県西部を中心に栽培されていますが、近年立枯疫病による被害が大きくなり、古い産地では、栽培が困難な状況となっています。

そこで、平成13年に立枯疫病に強い「蔵王」と「徳島在来」を交配し、得られた系統の中から立枯疫病耐病性を目標に選抜を重ね、平成22年3月に品種登録出願し、平成22年6月14日に出願公表されました(出願番号第24667号)。

「阿波の銀次郎」の特性

- ①立枯疫病耐病性は「阿波たろう」や「徳島在来」より強く、耐病性品種「蔵王」と同等である。
- ②木はやや開張性であり樹勢は強い。
- ③ふかし芽は太く、形状に優れている。

栽培上の留意点

- ①水はけが良く日当たりの良いほ場が適するが、中山間の痩せた遊休地でも栽培することができる。
- ②立枯疫病の被害を防ぐために、種根の選別や汚染土壌のほ場持ち込みを防ぐなどの耕種的な防除を行うこと。また、疫病の発生が見られた場合は、登録のある農薬で防除する。



立枯疫病汚染ほ場における各品種の生存率
(平成19年5月11日定植)



太く形の良い「阿波の銀次郎」のふかし芽

徳島県内に限って栽培でき、苗は利用権許諾契約を結んだ農協等から購入できます。詳しいことはお問い合わせください。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 中山間担当

TEL (0883) 72-0239

FAX (0883) 72-6868

<http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/nouken/>